

■災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」3つの特徴

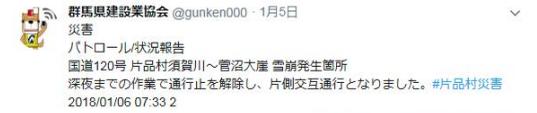
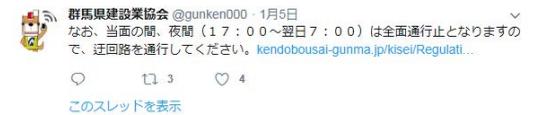
- その① **確度の高い情報** …災害対応への実績が高い建設業協会員が発信する、現場最前線での正確な情報
- その② **わかりやすい情報** …収集した情報をわかりやすく発信（時系列、マッピング、文字、画像、動画など）
- その③ **Twitter投稿機能** …ワンクリックのTwitter投稿機能により、一般に向けてスムーズに情報発信



H30.1. 4片品村大崖付近
雪崩発生場所



H30.1. 5片品村大崖付近
雪崩発生場所復旧作業(全面通行止め)



群馬県県土整備部防災情報(積雪)



積雪状況 H30.1.1から3日間で積雪が倍増に！

群馬県県土整備部防災情報

(片品村鎌田観測地：各日午前9時現在)

2018/1/1	積雪42cm	最高気温 3℃	最低気温-5℃
2018/1/2	積雪37cm	最高気温 5℃	最低気温-3℃
2018/1/3	積雪64cm	最高気温 4℃	最低気温-6℃
2018/1/4	積雪87cm	最高気温-2℃	最低気温-5℃
2018/1/5	積雪78cm	最高気温-1℃	最低気温-9℃

災害対応状況

- 国道120号片品村大崖付近**H30.1.4雪崩発生** 通行止め
- 群馬県沼田土木事務所鎌田事業所の要請により、**H30.1.5会員企業が復旧活動着手(全面交通止め)**
- 懸命の復旧活動により、**H30.1.7未明に復旧作業完了(片側交互通行可)**
- 流通在庫備蓄している災害応急対策資材(大型土のう)を400枚出庫(H30.1.5付)**

※ 群馬県建設業協会では、東日本大震災の教訓から災害発生時に直ちに必要となるブルーシート、大型土のう袋、土のう袋を陳腐化させずに流通に乗せながら備蓄するため、県内3社の資材販売流通企業と平成23年9月2日に「流通在庫備蓄」協定締結し不測の事態に備えている。



備蓄状況

群馬県建設業協会
流通在庫備蓄の活用について

当協会では、県長知事及び関東地方広域市長との災害協定による協力要請に機敏に、災害応急対策資材を下記の通り提供させていただきます。

品名	ブルーシート(1枚)	土嚢(1枚)	土のう袋(1枚)
株式会社 新井物産	700	350	7,000
株式会社 ティアックス (沼田事務所)	700	350	7,000
株式会社 ホリグチ (沼田支店)	600	300	6,000
合計	2,000	1,000	20,000

◇会員企業は、県土木事務所長、市町村長の要請による**災害応急の際に流通在庫備蓄品(ブルーシート、大型土嚢、土嚢袋)を活用できます。**

【活用手順】
1 会員企業は、最寄りの流通在庫備蓄先(新井物産、新井物産、ホリグチ)へ、必要な品・数量を連絡。
※ 1000枚以上のブルーシート、500枚以上の土嚢、土のう袋は、1000枚以上のブルーシート、500枚以上の土嚢、土のう袋を1セットとして提供いたします。
2 会員企業は依頼した分を個別精算。